

令和3年度愛媛県ビッグデータ活用県民健康づくり協議会の
書面開催結果（概要）について

議 題

- (1) 令和3年度事業報告について
- (2) 令和4年度事業について
- (3) その他

【結果概要】

(1) 令和3年度事業報告について

- ・新型コロナウイルス感染症対策・健康危機管理業務が優先される中でも、昨年度までの成果を踏まえ、最終年度（令和5年度）に向けて確実に事業を進めていることが伺える。
- ・制約の中でもオンラインでの研修会が開催され、参加者アンケートからも研修会の目的・目標が十分達せられたことが伺われ、各担当者の令和4年度以降の取り組みに期待したい。
- ・報告書も、昨年までの分析を着実に発展させ、読み応えのある内容になっている。圏域別・市町別の年齢調整済みデータの比較が図示され、自地域の特徴がわかりやすい。
- ・保健所事業については、各地域での課題や特性に応じた取り組みが進行していることが確認できた。差の解消へ向け令和3年度開始の保健所担当者会での情報交換等に期待したい。
- ・スマートヘルスケア推進事業のアプリ登録者数や利用者の実態がわかり、動機付けに有効に働き、歩数増加など生活習慣改善につながっていることは評価できる。今後その効果を持続できるかの検証も重要であり、登録者の中での活用状況がアプリ側から把握できないか。
- ・愛媛県循環器病対策推進計画の策定に関しては、循環器病は愛媛県の現状として重要な健康課題であり、計画策定を第一歩として今後の取り組みに期待したい。
- ・令和3年度も有意義な研修会を開催していただき、ありがとうございました。
- ・コロナ対策で大変な状況の中、開催方法や内容等に工夫を凝らし、各地域での効果的な保健事業の実践につながるための取り組みを展開していただき感謝する。

(2) 令和4年度事業について

- ・取り組み案に対し特に意見はなく、引き続きの発展を期待したい。
- ・心不全の死亡については、KDBシステム等で死亡のデータを保有してないため、国保連合会にて分析が難しい状況のため、ぜひ分析を進めていただきたい。実際に心不全で死亡した方の性別・年齢・基礎疾患など、死亡に至った経緯を分析することで予防すべき対象者の明確化につながると考える。
- ・保健指導に関するツールについては、すでに国保連合会においても市町に対して、対象者把握、評価等を行うためのツールや保健指導の際に使用する保健指導教材の提供など具体的な実践に活用いただけるよう支援を行っており、活用している市町も多くあるため、愛媛県においてその他の新しいツールを作成するのであれば、お互いに情報連携

しながら保険者支援ができればと考える。

- ・エビデンスに基づき益々地域の効果的な保健事業の実践へとつながるよう地域の健康づくり活動支援していただきたい。市町と管轄保健所が一体的に取り組める「地域健康づくり事業」を展開することで、県内の地域・圏域毎の特性に応じた取り組みが更に進むことを期待する。

(3) その他

- ・資料のP46に歯科関連の質問項目があるため、この項目と他のデータとの関連を調べて欲しい。現在、歯と全身疾患との関連が様々な分野であきらかになっているとともに、要介護と残存歯数との（≡なんでも食べることができる、かみにくいほとんど噛めない）関連も示唆されているため。

- ・国保連合会においては、令和4年度愛媛県から委託を受け「高血圧に着目した重症化予防支援事業」を行うこととしている。各市町の高血圧解決にむけて、研修会や個別に市町への支援を実施し、KDBシステム、KDB補助システム等を活用して対象者抽出から実践、評価等、PDCAサイクルにそった事業展開ができるよう支援する予定。今後は愛媛県の取り組みとも連携を取りながらすすめていきたい。

- ・愛媛県ビッグデータを活用し、県・市町と連携した事業を実施したいと思うので、御協力をお願いしたい。